



御船町長

山本孝二

行政

### 共に創る「共創」のまち御船町

明けましておめでとうございませう。町民の皆さまには、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より、行政運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故、近畿地方を襲った台風12号など、近年まれにみる未曾有の災害の年であったと思います。犠牲になられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われた方々へ心からお見舞い申し上げます。被災地の日も早い復興を願っています。本町でも、布田川日奈久断層が通っており、大規模な地震などの災害がいつ発生するか分かりません。町民の生命、身体、財産を守る

ことが行政運営の基本であります。御船町防災計画をさらに具体的かつ、実用性のあるものに進化させていく必要があると考えています。

一例をあげますと、御船町全域に敷設した光ファイバー網を防災面での活用を検討していきます。平時の防災啓発、災害の状況把握や情報提供など、早い情報の伝達手段として期待しています。

また本年から、マニフェストのテーマ「共に創る『共創』のまち御船町」を目指して、住民参画から共働によるまちづくりを進めていきます。

マニフェストは、5つの宣言①健康いきいき御船町②地域のことは地域で決める御

船町③地域ブランドと地域ビジネスで経済的に豊かになる御船町④みんなで育む笑顔と健康が響きあうロハス（健康と環境）なまち御船町⑤我がまちの子どもたちをみんなで育てよう御船町と、プラス挑戦する御船町役場で構成されています。

昨年中は準備段階として、マニフェストの具体的な実施計画を執行部で作成しました。本年はその中でも、特に宣言1「健康いきいき御船町」を重点的に取り組んでいきます。

主なものとしましては、総合型地域スポーツクラブと連携をしたスポーツの振興や介護予防事業など、福祉の充実を図り、町民の皆さまが健康であり、充実した人生を送れるような日本

一の「健康長寿の町」を目指します。併せて、関連事業については、国のモデル事業として取り組むことも検討しています。

また、自立した御船町に向け、「自治基本条例」制定に向けた準備を行っています。2月26日回には、北川正恭早稲田大学大学院教授、片山健也北海道ニセコ町長をゲストに迎えて、条例制定に向けたキックオフイベントを開催する予定です。町民の皆さまと御船町の将来を考える機会にしたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

最後になりますが、どうか皆さまにとって実り多き素晴らしい年であることを祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

Top message

# 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございませう。平成24年の幕開けに当り、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災によりお亡くなりになられた皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は先の東日本大震災を始め、8月末に発生した台風12号、10月上旬には台風15号と、これまでにない災害が起きました。

災害に関する報道で、連日死者・行方不明者の数が増えていくさまに、日本人だけでなく、世界中の人々が心を痛めました。関東地方では、公共交通

機関が軒並み運休「帰宅難民」という言葉も聞かれました。議会では、8月22日から4日間かけて行った議会報告会の中でも、災害時の避難場所への意見も聞かれました。本町の防災対策についても、今後議論を深めていかなければなりません。

4月の統一地方選挙では新人6人を含む16人の議員が選ばれました。議会基本条例にある「町民とともに歩む議会」「行動する議会」「開かれた議会」を念頭に、議会議員活動に日々取り組んでいます。

現在、行政側で進められている「自治基本条例」の策定に、多くの町民の意思が反映されるよう議会も、

町民も関心を持ちたいものです。

首長や議会だけが町のことを決めていくのではなく、町民の皆さまの意思によってまちづくりを行っていくことが「地域主権」であると考えます。議会は「議会報告会」や「あおぞら会議」など皆さまから意見を聞く機会を多く設けています。どうかご活用ください。

今後も、存在感のある議会であるために、さらなる議会活性化に努めてまいります。

年頭に当たり、この1年が町民の皆さまにとって素晴らしい年でありますよう心からお祈りを申し上げます。そして、新春のあいさつとさせていただきます。

## 町民とともに歩む議会であるために



御船町議会議長

岩田重成

議会

(Photo / 吉無田高原山頂から望む山々)